

職員だけでなく市民はもっと不便な議会への通路締め切り

9月1日から市役所本館と議会を結ぶ通路のドアが締め切られました。議会とは市民に開かれているはずなのに、請願や陳情などで市民が要請にたびたび来ることがわずらわしいとでもいうのでしょうか、議員が暴漢に襲われてはいけないとかあれこれ理由をつけて他会派の議員たちが200万円もかけて設置しました。議員や当局は暗証番号を教えられていてその番号でドアを開けますが、議会の時には市の担当者は質問に関するやり取りでしょっちゅう出入りします。市民の方も議会棟の北側にある受付で「誰それに会いたい」と言っ、了解してもらえないと面会できないことになり、誰もが不便になっています。議員は特別という特権意識がまだ残っているようです。ネ。



締切ドアの横に設置されたテンキーボックスとインターホン

メダカ通信 50回



新聞のテレビ欄を見ていて、サンテレビでまだメダカのユタローという番組を放映していることに驚いています。息の長い番組になっていて、メダカも一時的ブームでないことはうれしい限りです。

ただ、私の場合はメダカのネタもなくなってきたので、メダカ通信も今回の50回で一区切りつけて、次回からは健康について書いていこうと思います。

食べ物豆知識 第64回 魚と糖尿病

8月17日の新聞に特に男性において、アジ、サンマ、イワシなどの青魚を多く食べる人ほど糖尿病になりにくいとの国立がんセンターの研究結果が掲載されました。青魚に多いとされるEPAやDHAの成分による働きではないかとされていますが、女性では変化がなかったそうです。特にEPAは血栓を溶かし血管を広げる役割があるそうです。魚の皮を食べない人もいますが、皮にたくさん栄養があるので食べた方がいいそうですヨ。

まつお正秀の「コラム」

先日テレビの「ためしてガッテン」という番組で、突然腎臓がだめになるとした特集を行っていた。その中で隣の尼崎市の取り組みを紹介していたが、大変参考になった。尼崎市は県下の寿命率が一番低く、その中でも人工透析を受ける人を減らすことで寿命を延ばせるのではないかと考え、健康診断を元に独自の取り組みを行っていた。私も血液検査の項目についてはだいたいのことは分かっている、その数値の変化がどのような意味を持っているのかという深い意味を理解していない。特に腎臓や肝臓は沈黙の臓器と言われており、気がついたときには手遅れというケースも多い。そうならないためにも、体から発信されている情報の意味と変化を良く知ってもらうことが必要だと言っているのである。尼崎市ではワークブックを何とかしなくてはということができつけに注目を集める取り組みができたということだろう。今のままではいけないと思いの深さが改善に繋がることを示している。